



春の咲き撮り

CONTENTS

- 左義長まつり
- 勝山市の財政
- HOT話題
- 情報BOX

歴史の散歩道 (75)

岩屋の竜神絵馬・岩屋観音

竜神絵馬は、文政二年（一八一九）大野郡の岩屋村が岩屋観音堂に奉納したものである。裏書には「日照りが続いたので、今般願いを立てて、昼夜堂に籠もって祈願したところ大願が成就したので黒白竜の絵馬を奉納する」とある。なお、「村中安全・五穀豊饒、為現当二世快樂也」とも記される。ちなみに竜は地上・空中・水中に住し、雲雨を自在にする力を持つといわれる。竜神絵馬寄付人として村方三役の庄屋・長百姓・惣代の名前が書かれている。絵馬の竜神の絵は素朴であるが迫力のあるものである。

当時村々は自分たちでつくった独自の世界を持っており、百姓たちは団結して村の維持にあたり、自分たちで解決しようとしていたのである。わけも、村の鎮守の社の存在は極めて大切で、春・秋には村を挙げて豊作の祈願と感謝の祭を行ってきた。なお、「越前国名蹟考」によれば、岩屋の地は、豊原寺より平泉寺に至る白山禅定の道筋にあたり、泰澄ゆかりの鈴敵寺があったという。今は岩屋の傍らに観音堂ばかりが残っている。文化十四年（一八一七）に、かつ山花蔵

閣主（東野蓮照寺）が「古記をやわらげ」て書き記した「岩屋観音縁起」が残されている。これによれば、養老元年泰澄白山にのぼり妙理大菩薩を拝し、自ら三仏を彫刻し、中尊は如意輪観音、左は十一面観音、右は聖観音菩薩である。これを臥行者・清定行者が仏の告げにより岩屋の霊窟に安置した、という。なお、左脇の十一面観音菩薩は他所に移ったという。この如意輪観音・聖観音は南北朝期の作と推定され、背面の銘に承応二年（一六五三）に修復したことを記している。昭和四十一年、勝山市指定文化財となった。ところが、その後盗難にあい、現在のものは新しく造られた観音菩薩である。岩屋集落はその後廃村となったが、岩屋観音奉賛会が組織され信仰が守られている。勝山市文化財保護委員 増田公輔



岩屋村奉納竜神絵馬

編集後記

▶暖冬の影響で、季節のたよりが例年に比べて半月から1カ月程度早く推移しています。勝山市の天然記念物に指定されている「ミチノクフクジュソウ」も例年ですと3月下旬頃に開花しますが、今年は3月の声を聞く前に、咲き始めています▶学校では卒業式、地区ではお別れ会が行われます。職場では、人事異動があります。しかし、寂しい別れの後には、新しい出会いが待っています▶緊縮型予算の中で従来の行政サービスを堅持し、子育てや健康増進を支援するなど市民生活環境の充実を目指した新年度予算。3月議会で内容が十分に吟味され、来月号でその中身を紹介する予定です。

火災発生

☎88-5100 (テープ吹き込み)

休日・祝日在宅当番医

診療時間▶AM9:00~PM5:00

3/11 (日)	武藤 外科 医院	☎88-0266
3/18 (日)	たけとう 病院	☎88-6464
3/21 (水・祝)	佐々木胃腸科外科医院	☎87-2616
3/25 (日)	福井社会保険病院	☎88-0350
4/1 (日)	竹下中央内科医院	☎88-1121
4/8 (日)	坪川 医院	☎89-1035
4/15 (日)	福井社会保険病院	☎88-0350

○休日に体調が悪くなったときは、ご連絡ください。

☎ 消防署 (☎88-0400)

交通事故発生状況

※高齢者=65歳以上

件数内訳	平成19年2月末	前年比
総件数	95件	-47
人身事故 (うち高齢者)	21件 (6)	-5 (+1)
死者 (うち高齢者)	0人 (0)	±0 (±0)
傷者	23人	-9
物損事故	74件	-42

3月の納税

今月の納税はありません

人口の動き

	1月末現在	自然動態		社会動態		2月末現在	月間増減
		出生	死亡	転入	転出		
男	13,149人	7	12	12	20	13,136人	-13人
女	14,417人	9	10	11	34	14,393人	-24人
合計	27,566人	16	22	23	54	27,529人	-37人
世帯数	8,120世帯					8,110世帯	-10世帯

毎月第3日曜は

家庭の日 子どもの成長を祝い みんなの夢を育てよう